

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

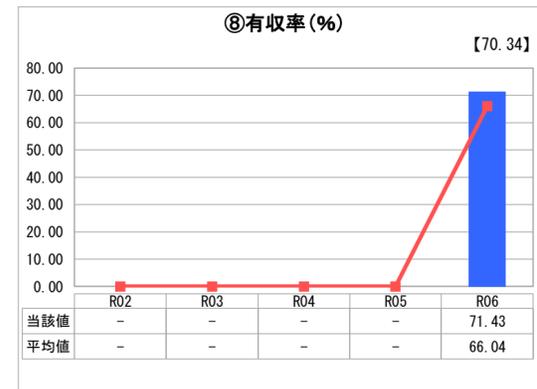
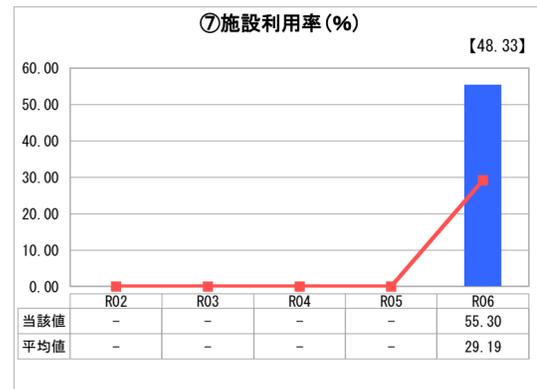
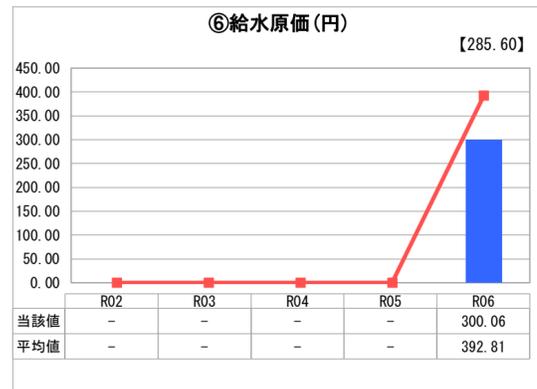
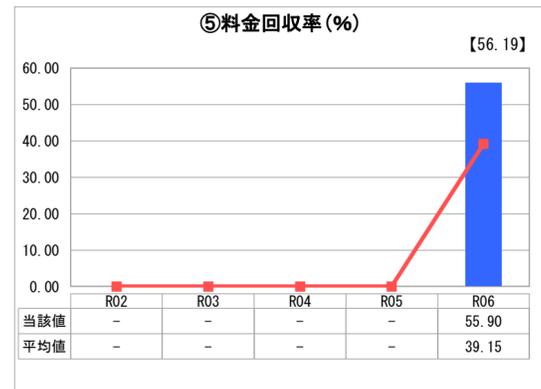
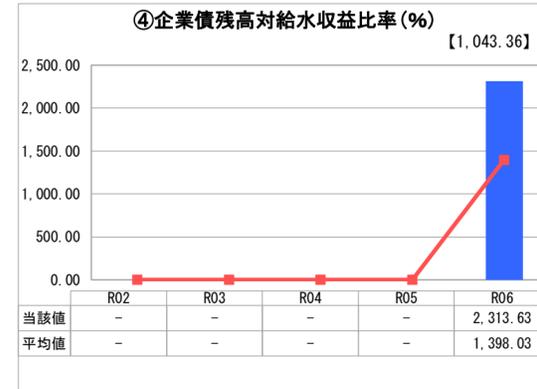
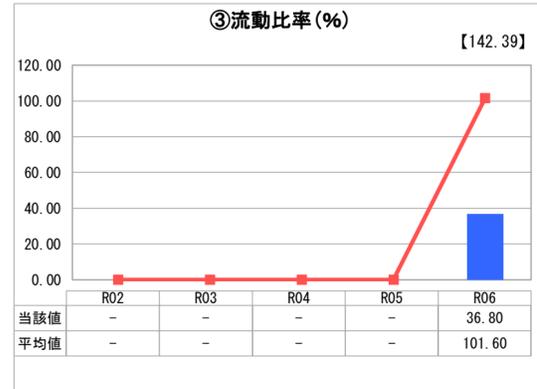
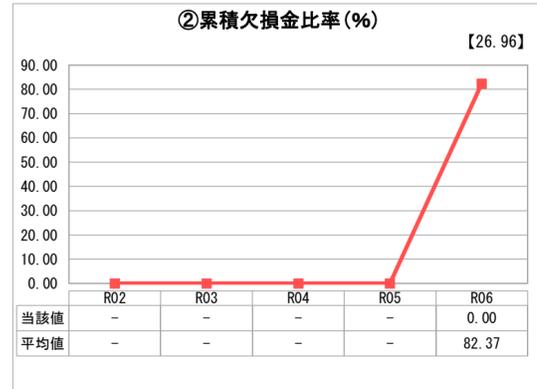
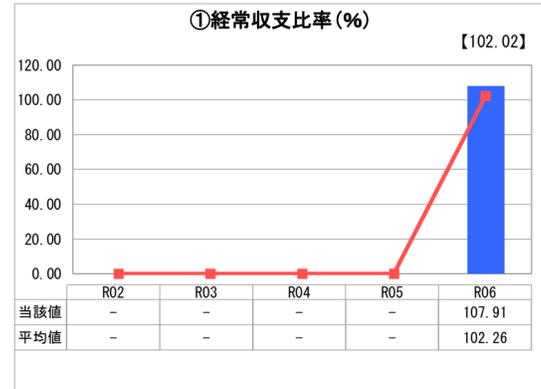
青森県 風間浦村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	41.18	99.93	3,355	

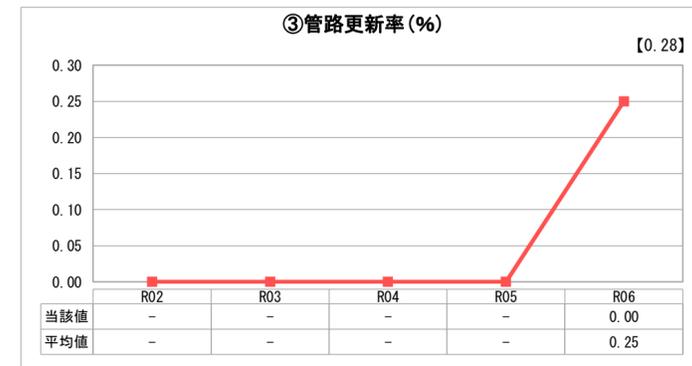
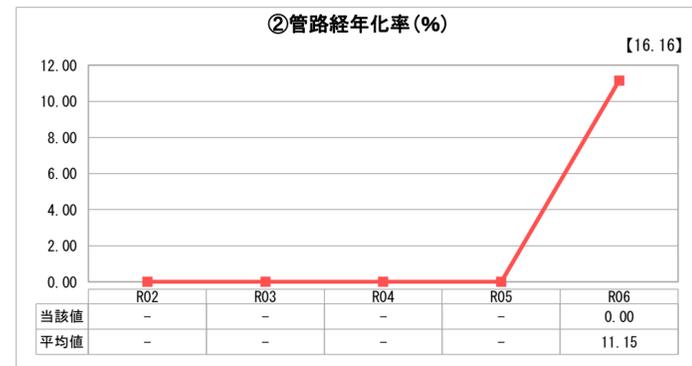
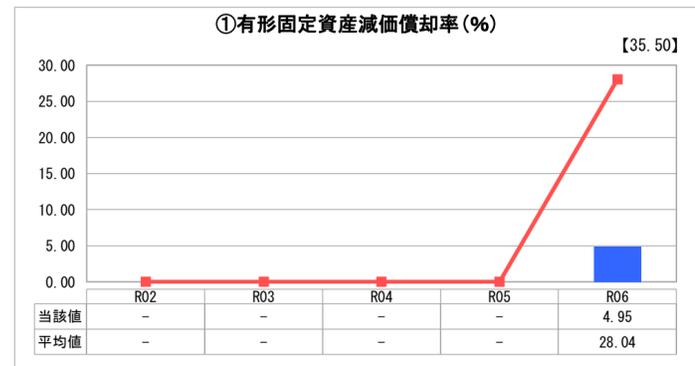
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,554	69.46	22.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,534	3.10	494.84

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率より、単年度の収支で見れば赤字であるが、水道料金使用料で経営が賄えないことから一般会計からの負担金等によって経費を補っているのが現状である。  
 企業債残高対給水収益比率については、令和3年度に発生した、豪雨災害復旧工事、浄水場改修工事等により地方債償還が上昇している。  
 料金回収率は、類似団体平均より高いことから引き続き滞納等がないよう料金回収に努めたい。

※本事業は、令和6年度から企業会計に移行しているため、令和5年度以前のデータはない。

### 2. 老朽化の状況について

管路更新について、令和6年度は更新はないが老朽化や外部からの衝撃に耐えられなくなったと思われる漏水が多発している。  
 管路の点検診断等を行いつつ、本管や重要施設に関わる主要となる配管については、耐用年数よりも早い交換及び耐震管への入替を視野に入れて計画していく必要がある。

## 全体総括

令和6年度から企業会計に移行しており、経年比較はできないが、過疎化や人口流出により、給水収益の低下や施設の老朽化等による維持管理費の増加が課題となっている。  
 今後は、老朽化した施設や管路の更新をしなければならず、そのためには、料金体系の見直しや効率的な施設の維持管理及び計画的な設備投資について、引き続き検討していかねばならない。  
 また、近年の物価高騰や人件費の増加も大きく影響しており、水道業務に長年携わっていた職員が減っていく中で、技術・経験の引継ぎ及び人材の確保も考えていかねばならず、少ない職員で工夫して業務にあたらなければならないのが現状である。